

医 と 社 会

責 任 者	氏 名	小 澤 寛 樹	内 線	2860
	教 室	精神神経学 (精神神経科学)	e-mail	ozawa07@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスワ-	水12:00-13:00		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	4(2～4年)
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

体験実習を通して、医師の立場から(病院実習)、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

2. 授業内容(講義・実習項目)

1) 実習

- (1) 病院体験実習
- (2) 病院実習2 リハビリテーション施設(介護の立場から)

2) 医学テーマ

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) 臓器移植・再生医療 | (5) 図書館の利用法 |
| (2) 遺伝子診断・遺伝子治療 | (6) 感染症とは |
| (3) プライマリヘルスケア | (7) 対人関係 |
| (4) 熱帯医学 | (8) 病気とこころ |

3. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

4. 詳細な授業計画は後日配付

5. 備考(準備学習等)

分子病態系

責任者	氏名	近藤 宇史	内線	2310
	教室	原研生化(分子病態生化学)	e-mail	kondo@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	毎週水曜日午前11-12時(原研生化教室)		

対象年次・学期	編入学3年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Molecular Biology in Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生体成分の構造、機能、および代謝とその調節機構などの分子レベルでの理解はもとより、分子生物学的解析および理解が病態の把握に必須である疾患について、総論的知識と基本的考え方を修得することが目標である。
生体分子系など基礎医学で学んだ知識と考え方を疾患の成り立ちを理解することに結び付けることと同時に、医学の進歩の最先端を捉える力を養ってもらいたい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

次の項目について講義を行う。

代謝疾患総論

1. 血糖調節の病態代謝
2. 血管病変の病態代謝
3. 血液凝固と線溶系の病態
4. 肥満の分子病態
5. 内分泌異常の分子病態
6. 老化の分子病態

先天性代謝異常症総論

1. 先天性代謝異常症の概念と発生機序
2. アミノ酸代謝異常
3. 脂質代謝異常
4. 糖質代謝異常
5. グライコミクスと分子病態

脳神経疾患の分子病態

1. 神経変性疾患の病態
2. 血液脳関門の分子病態

循環器疾患の分子病態

1. 心不全の分子病態
2. 高血圧、肺高血圧の分子病態

呼吸器疾患の分子病態

1. びまん性肺疾患の分子病態
2. 閉塞性肺疾患の分子病態

消化管疾患の分子病態

1. 炎症性腸疾患の分子病態

3. 教科書、参考書等 必要に応じてプリントを配付

書名	著者	出版社	定価
最新・分子動脈硬化学	森崎信尋 他 編集	マイカルビュー社	8,400 円
標準分子医化学	藤田道也 他 編集	医学書院	10,500 円

4. 成績評価の方法・基準

試験：前期末に前期の授業内容について100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とする。

5. 教員名

原研生化：近藤 宇史、井原 義人

6. 備考(準備学習等)

分子病態系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	21	木	1	呼吸器疾患	気管支喘息の分子病態	第2内科：松瀬	附属病院11階 第2内科医局
			3	先天性代謝異常(1)	先天性アミノ酸代謝の異常	原研生化：井原	ミーティング室
			4	先天性代謝異常(2)	先天性脂質代謝の異常	原研生化：井原	ミーティング室
6	28	木	1	肥満	肥満の分子病態	原研生化：近藤	ミーティング室
			3	先天性代謝異常(3)	先天性糖質代謝の異常	原研生化：井原	ミーティング室
			4	グライコミクス	糖鎖と分子病態	原研生化：井原	ミーティング室
7	5	木	1	呼吸器疾患	肺気腫の分子病態	原研生化：近藤	ミーティング室
			3	血管の老化	老化の分子生化学	原研生化：近藤	ミーティング室
			4	血管の老化	高脂血症と動脈硬化の分子病態	原研生化：近藤	ミーティング室
7	12	木	1	レドックス	レドックスと疾患	原研生化：近藤	ミーティング室